

。○。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2014. 5. 19

下水道機構の『新技術情報』 第141号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。○。○。

明日20日は24節季の「小満(しょうまん)」です。植物が育ち茂る。「麦生日」と呼ばれ晴天であれば麦がよく熟するといわれているそうです。関係はありませんがつついビールを想像してしまいました。そろそろおいしくなる季節ですね(笑)

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第141号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・技術マニュアル活用講習会を開催します！6/20(金)@東京

■機構の動き

- ・今週は特に行事はありません

■Tea Break

- ・八甲田山 (総務部 H.Kさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、「まる子動物園へ行く♪」の巻です！

■国からの情報

- ・5/16付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。○。○。

●技術マニュアル活用講習会を開催します！6/20(金)@東京

当機構が民間と共同研究し、とりまとめた新技術に関するマニュアルや資料を詳しく解説する『技術マニュアル活用講習会』を、6月20日(金)10:00~16:45に東京会場(当機構会議室(江戸川橋))で開催します。今年度は、次の6つの新技術について、担当技術者がパワーポイント等を使って、内容を詳しく、分かりやすく解説します。

- (1) 大規模災害に対する早期機能回復のための情報システムのあり方と構築方法に関する技術資料
- (2) 下水道事業における X バンド MP レーダー情報利活用に関する技術資料
- (3) 活性汚泥法等の省エネルギー化技術に関する技術資料
- (4) 酸化剤を用いた余剰汚泥削減技術(標準活性汚泥法) マニュアル
- (5) 下水処理場における小型バイナリー発電の導入マニュアル
- (6) 下水汚泥自燃焼却システム技術資料

今回の講習会は、昨年の参加者によるアンケート結果を反映し、説明時間を長くするとともに、参加者の負担を軽減するため、参加費用、配布物について見直しを行っています。

※詳細、お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/manual-seminar/manual-program>

。 。 。

機構の動き (機構の行事予定です)

。 。 。

●平成 26 年 6 月 12 日(木)17:00~18:00

行 事 : 第 327 回技術サロン

場 所 : 機構 8 階 中会議室

ゲスト : 国立極地研究所生物圏研究グループ 准教授 工藤 栄 氏

テーマ : 『南極の水環境が創る生態系』

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。 。 。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。 。 。

●八甲田山 (総務部 H.K さんからの投稿です)

八甲田山というと新田次郎の小説「八甲田山死の彷徨」や映画「八甲田山」で有名な明治 35 年に発生した青森歩兵第 5 連隊による 210 名中 199 名が遭難した八甲田雪中行軍遭難事件から危険な山という印象を持っている方が多いのではないのでしょうか？確かに厳冬の八甲田山は風雪も厳しく体感温度がマイナス 20℃に達することもあります。現在は当時とは交通手段や防寒の装備が全く異なり、日本で最も手軽に山岳スキーやスノーボードを楽しめる山です。

八甲田山は青森市と十和田湖の間に位置する複数の火山で構成される山の総称で八甲田山という単独の山は存在していません。

八甲田が他の山岳スキーよりも最も手軽に楽しめる理由は、ロープウェイで標高 1.324 メートルの田茂菴岳まで行き、そこから目指す斜面へ向かうことができるため、登りが 1 時間から 2 時間程度で済み、滑走する斜面も赤倉岳 (1.548m) から下る箒場岱

ルートなど延長7.5km(上り1.2km下り6.3km)の長距離と大斜面を楽しめる山岳ツアールートが豊富なことからです。また、ツアーガイドも充実しており代表的なガイド組織が4団体あり、料金も他の地域よりも格安で利用できます。

八甲田は12月から2月の厳冬期には見事な樹氷群を眺めながら1時間程度登り、無木立の大斜面や樹林帯の中のパウダースノーを満喫することができ、5月のゴールデンウィーク明け頃まで山岳スキーを手軽に楽しめる素晴らしい山ですが、決して自然を侮ってはなりません。雪崩や猛吹雪など自然は時には牙をむくことがありますので、山を楽しむには、それなりの知識や装備が必要であることを忘れてはなりません。

_____。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

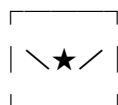
_____。○○。

●今回は、「まる子動物園へ行く♪」の巻です！

詳しくはこちら→ <http://www.jiwet.or.jp/yuimaru2014-5-19>

/
皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

/

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション (2014.5.16 国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀



★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○平成26年度下水熱ポテンシャルマップ(詳細マップ)策定事業モデル地区の募集について【国土交通省下水道企画課】

●桜町北湊雨水貯留管築造工事起工式の開催について【北九州市】

●6月の技術サロンの開催について【下水道機構】

=====

○平成 26 年度下水熱ポテンシャルマップ（詳細マップ）策定事業モデル地区の募集
について【国土交通省下水道企画課】

下水熱利用の推進のため、国土交通省では環境省と連携し、平成 25 年度においては、実現可能性調査（FS）地域・事業化地域の絞り込み等に活用できる「広域ポテンシャルマップ」を策定しました。平成 26 年度は、下水熱利用事業計画の詳細検討等に活用できる「詳細ポテンシャルマップ」を策定することとしています。これに当たり、試行的に、モデル地区におけるポテンシャルマップを策定するため、対象とするモデル地区を募集します。募集要領及び提案書の様式は国土交通省の HP に掲載しております。

URL :

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000338.html

応募締切：平成 26 年 6 月 13 日（金） 17 時

●桜町北湊雨水貯留管築造工事起工式の開催について【北九州市】

北九州市若松区の市街地の浸水対策として、市として初めての雨水貯留管「桜町北湊雨水貯留管築造工事」に着手する運びとなり、平成 26 年 5 月 9 日（金）に北湊浄化センターにおいて、市長、市議会、国土交通省、福岡県、若松区長、自治会等の出席の下、起工式が開催されました。10 年に 1 度の規模の浸水対策だけでなく、

合流式下水道の改善対策としても、完成後の効果が期待されています。

市の HP : <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/26301005.html>

●6 月の技術サロンの開催について【下水道機構】

当機構では、地方公共団体、民間等の皆様を対象に下水道に係わる最近の話題や新技術に関する交流の場として、毎月第 2 木曜日、「技術サロン」を開催しています。

第 327 回となる今回の技術サロンは、平成 26 年 6 月 12 日（木）17:00~18:00、当機構（東京・江戸川橋）会議室にて開催します。ゲストは国立極地研究所生物圏研究グループ准教授 工藤栄 氏をお迎えして「南極の水環境が創る生態系」をテーマに開催します。申し込みは、当機構ホームページから Web 申し込みをお願いします。

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

=====

◆秋里雨水ポンプ場が完成 鳥取市、下水改善事業終わる<5/10 日本海新聞>

<http://www.nnn.co.jp/news/140510/20140510004.html>

◆慈雨 都市を潤す? 「利用推進法」施行水害から水源へ<5/10 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/living/life/CK2014051002000184.html>

◆下水汚泥燃料に J I S 制定=需要後押しで CO2 削減-国交省<5/10 時事通信>

<http://www.jiji.com/jc/zc?k=201405/2014051000172&g=eco>

◆氷上中に雨水を貯留 5 小学校で校舎改造など 治水対策で丹波市整備へ

<5/11 丹波新聞>

<http://tanba.jp/modules/news/index.php?page=article&storyid=1949>

◆福岡市の節水技術途上国へ、大渇水経験生かし<5/14 読売新聞>

http://www.yomiuri.co.jp/kyushu/news/20140514-0YS1T50059.html?from=sycont_top_txt

◆大雨で道路陥没 糸満と八重瀬<5/15 沖縄タイムス>

<http://www.okinawatimes.co.jp/article.php?id=69578>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/>

○ニューズレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/seikai6.pdf>
